



ナツツバキ咲く大神山神社奥宮
7月14日午後7時からの
「夕祭」→



各自で料理を持ち寄っての歓談「お籠もり」

2013.07.14(土)～15(日)

大山もひとり神事

(大神山神社奥宮古式祭)

毎年7月14日15日に大山で行われる神事。14日に大神山神社奥宮で夕祭が行われた後、15日深夜1時半の派遣祭を経て大山山頂へ向かい、頂上付近の石室で神祭執行後、霊水と薬草を採取する。江戸時代は、大山寺により写経と経筒埋納を伴う弥山禅定として行われていたが、廃仏毀釈を受けて現在の大神山神社奥宮を主体とする形に変わった。

大山山頂で霊水と薬草を採取することから大山の原初信仰を残している点、また、廃仏毀釈という大きな変化を受けながらも行事が続けられている点で、貴重な無形民俗文化財といえる



御神水取神事に向かう人たちの「派遣祭」

神職2名・先達1名・強力さん・信者たちで合計14名を派遣
本当は山頂に行くのだが、今年は大雨のため、朝5時発:元谷に変更



「湯たて行」 ヒトツバヨモギと御神水を取りに行く人たち
湯立てによるお祓いを受ける

いよいよ出発→



雨の中、14名出発。 この後、豪雨になる



中での神事の様子
合わせて下山神社で「下山神社例祭」が行われる



無事、ヨモギと御神水を持って戻る



無事に戻った事を報告
←無病息災を願いヨモギを参拝者に配る



出発後、大雨（大雨洪水警報が出る）
元谷に土石流が出て戻るのが危険と
なり小屋で動けず半日待機。
大変な古式祭となりました。

